

## 外国語科学習指導案

学校名 海田町立海田西中学校  
授業者 中川 由佳（ベーシック）  
山本 竜也（アドバンス）

- 1 日時 平成28年10月13日（木） 第6校時
- 2 学年 第2学年1組 ベーシックコース 男子12名 女子5名  
アドバンスコース 男子9名 女子12名
- 3 単元名 Program6 A Work Experience Program
- 4 単元について

### (1) 単元観

本単元は中学生の由紀、武史、桃子が職業体験を通して学んだことをウッド先生に話したり、クラスの中で将来の夢について発表したりする場面が取り上げられており、自分の将来について考えたり、職業観を深めたりするにはたいへん意義のある題材である。また、本校の生徒は9月に職業体験を経験しており、まさに実際に体験し、その内容を身近に感じることができ、そのことについて、書いたり話したりすることができるため、英語によるコミュニケーション能力を育み、英語学習への意欲を高めるのにふさわしい題材である。

本単元の新出言語材料は、不定詞の名詞的用法「～すること」、副詞的用法「～するために」、形容詞的用法「～するための」の3つの用法である。これらの文が使えることにより、自分のしたいことや行動する目的や理由を述べたり、また相手にたずねたりするなど、コミュニケーションの幅が広がることを期待できるとともに、それらを積極的に相手に伝えようとする態度を育成することができる単元である。また、この単元で学習したことを用いて、12月に実施する修学旅行において、浅草で外国人留学生と交流し、さらなる言語理解と今後の英語学習への意欲につなげたい。

### (2) 生徒観

本学年の生徒は、6月の「基礎・基本」定着状況調査の通過率が84.2%であり、基礎的・基本的な事柄は概ね定着していると考えられる。また、自分の考えを分かるところまででも書いて表現する指導を継続して行なった結果、無解答率が0となり、自分の考えを書いて表現しようとする姿勢につながってきている。一方で、適切な質問を考え英文を書く問題では、通過率が42.5%にとどまった。さらに、まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を聞き取る問題の通過率は46.6%であり、聞き手として必要な情報をつかみ、その上で相手に適切な質問をすることに課題があると言える。

生徒アンケートでは、「英語の勉強は好きです」の肯定的回答は80.8%、「英語の授業はよく分かります」の肯定的回答は76.8%であり、意欲的に授業に取り組んでいる生徒は多い。その一方で、「英語の授業では、自分の考えや気持ち、事実などを英語で話したりしています」の肯定的回答は、67.1%にとどまり、場面や状況に応じた適切な表現を用いて、自分の考えを表現するまでに至っていないことがわかる。

### (3) 指導観

本単元で学習する不定詞の3つの用法は、「to + 動詞の原形」の形を用いるため一般動詞が重要な単語となる。しかし、toの後に名詞を使ったり、動詞の過去形や三単現のsをつけた形を書く事が予想されるため、単元の始めに一般動詞の復習を再度行い、動詞の原形が確実に書けるようにしておく。また、授業の最初にウォームアップとして単語や既習の基本文型を復習する。その後、不定詞の用法に注目させ、生徒の気づきを取り入れながら、文法構造や用法、意味の確認を行なう。

本学年の生徒は、12月に修学旅行で東京に行き、浅草で外国人留学生と交流する機会があるため、実際の使用場面を想定し、初めて会う留学生のことを知り、自分たちのことを知ってもらうために必要な表現などを生徒に気づかせ、不定詞を使った表現につなげる。ベーシックコースでは、ペアで場面設定をし、その場所へ行った目的などを含んだ簡単な会話の中で、不定詞を使って適切に表現することを目標にスキットを作成する。アドバンスコースでは、ペアで留学生と交流する場面を設定しスキットを作成する。その後、中間報告を行い、気づきを交流し、スキットを修正、発表

することで、内容のつながりや相手を意識するなど、場面や状況に応じた適切な表現を用いて、自分の考えを表現できるようにする。

## 5 単元の目標

- ① 不定詞の文構造・意味・用法を理解することができる。
- ② 不定詞や既習の言語材料を活用しながら、まとまりのある文章を書き、発表することができる。
- ③ 職場体験についての文章を読み、知っている語句や内容を推察しながら、概要や要点を理解することができる。

## 6 単元の評価規準

ア. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ. 外国語表現の能力	ウ. 外国語理解の能力	エ. 言語や文化についての知識・理解
① 不定詞を用いて、自分やクラスメートの思いや考え等について積極的に書いたり対話したりしている。	① 不定詞を適切に使って書いたり話したりすることができる。	① まとまった文章を聞いたり読んだりして概要や要点を理解している。	① 不定詞の文構造や意味、用法について理解している。

## 7 本単元において育成しようとする資質・能力

- 【知識】
- ・不定詞の正しい文法構造
- 【スキル】
- ・伝える相手を意識し、お互いをよりよく理解するためには、どう伝えるべきか考えていく課題発見・解決力
- 【意欲・態度】
- ・自分の考えや意見を自ら発信する主体性
  - ・自分の考えや思いを積極的に伝え、表現しようとするチャレンジ精神
- 【価値観・倫理観】
- ・既習の文法事項を復習し、これまで学んだ知識をもとにまとまりのある英文を書くことで得る自らへの自信
  - ・グループ学習を取り入れ、友人と意見を交換することで考えを深める共感力

## 8 指導と評価の計画（全10時間）

次	時	学習内容	評価				評価規準	資質・能力の評価 (評価方法)
			関心	表現	理解	知識		
1	1	<b>課題の設定</b> <b>情報の収集</b> ALTへのインタビューやALTとのやりとりを通して、異なる文化を持つ人に伝えたい「こと」や「もの」を考える。	○				不定詞を用いて、自分やクラスメートの思いや考え等について積極的に書いたり対話したりしている。	伝える相手を意識し、お互いをよりよく理解するためには、どう伝えるべきか考えていく課題発見・解決力 (行動観察)
	2	不定詞(名詞的用法)の文構造・意味・用法を理解し、これらを使って、自分や友人の好きなことや、したいことを紹介する。				○	不定詞の文構造や意味、用法について理解している。	不定詞の正しい文法構造 (ワークシート)

	3	Program 6-1 の本文の内容を理解する。			○	まとまった文章を聞いたり読んだりして概要や要点を理解している。	自分の考えや意見を自ら発信する主体性 (ワークシート)
2	4 【本時】	不定詞(副詞的用法)を使って自分や友人の行動の目的や理由を書いたり表現したりする。			○	不定詞の文構造や意味、用法について理解している。	不定詞の正しい文法構造 (ワークシート)
	5	Program 6-2 の本文の内容を理解する。			○	まとまった文章を聞いたり読んだりして概要や要点を理解している。	自分の考えや意見を自ら発信する主体性 (ワークシート)
3	6	不定詞(形容詞的用法)を使って身の回りにあるものを紹介する。			○	不定詞の文構造や意味、用法について理解している。	不定詞の正しい文法構造 (ワークシート)
	7	Program 6-3 の本文の内容を理解する。			○	まとまった文章を聞いたり読んだりして概要や要点を理解している。	自分の考えや意見を自ら発信する主体性 (ワークシート)
4	8	<b>整理・分析</b> 外国人留学生への質問や紹介したいものを表現する原稿を作成し練習する。			○	不定詞を適切に使って書いたり話したりすることができる。	既習の文法事項を復習し、これまで学んだ知識をもとにまとまりのある英文を書くことで得る自らへの自信 (行動観察)
	9	<b>まとめ・創造・表現</b> ・ALTに質問や紹介したいもののプレゼンテーションを行う。 ・相互に評価する			○	不定詞を適切に使って書いたり話したりすることができる。	自分の考えや思いを積極的に伝え、表現しようとするチャレンジ精神 (行動観察)
	10	<b>振り返り</b> ALTからの意見や助言を受けて、自己の学習活動の自己評価を行う。	○			不定詞を用いて、自分やクラスメートの思いや考え等について積極的に書いたり対話したりしている。	グループ学習を取り入れ友人と意見を交換することで考えを深める共感力 (行動観察)

## 9 本時の学習

### (1) 本時の目標

副詞的用法の不定詞を使って、自分の考えを英語で表現することができる。

### (2) 観点別評価規準

不定詞の文構造や意味、用法について理解している。(エ①)

### (3) 準備物

ワークシート

(4) 学習の展開 (ベーシック)

	学習活動	指導上の留意点 (・) ◆配慮を要する生徒への支援	評価規準 資質・能力 (★) (評価方法)
導入	1 あいさつをする。 2 既習事項の復習をする。 3 本時のねらいを確認する。	・ ICTを使いテンポよく進める。 ・ 学習課題のポイントを簡単に説明する。	
行動の目的を表す不定詞を使って,スキットの後半を完成することができる。			
展開	4 副詞的用法を使った文の構成と意味を学習する。  5 リスニングをする 6 スキットの内容を確認する。 7 ペアでスキットの後半を考える。  8 ペアでスキットを使って対話練習する。 9 ペアで発表する。	・ 基本文の導入をQ&A形式で行い, その中で不定詞が行動の目的を表す「~するために」という意味であることに気づかせる。 ・ 繰り返し口頭練習をした後, ワークシート①で練習を行う。  ・ ワークシート②を使い, 場所と目的を聞き取り, スキットにつなげる。 ・ 音読練習をした後, スキットの前半がどのような内容なのか概要を把握させる。  ・ どのような場面かをイメージさせながら自分の考えを表現させる。 ・ そこに行った目的を必ず含む文を書くように指導する。 ◆WORD BOXを手がかりに表現する。  ・ 感情をこめて練習する ・ 行動の目的を表す部分に着目させる。	不定詞の文法構造や意味, 用法について理解している。 ★不定詞の正しい文法構造 (ワークシート)
まとめ	10 本時のまとめを確認する。	・ 基本文の確認を再度行う。 ・ 自己評価カードに記入する。	

(5) 板書計画

本時の 目 標	Thursday, October 13 <sup>th</sup> sunny
<行動の目的を表す不定詞を使ってスキットの後半を完成することができる。>	
不定詞 (to+動詞の原形) ~するために	
<p>I went to Tokyo Disney Land to see Mickey and Minnie.</p> <p>(私はミッキーとミニニーに会うために東京ディズニーランドへ行きました。)</p>	

(4) 学習の展開 (アドバンス)

	学習活動	指導上の留意点 (・) ◆配慮を要する生徒への支援	評価規準 資質・能力 (★) (評価方法)
導入	1 あいさつをする。 2 既習事項の復習をする。 3 本時のねらいを確認する。	・ ICTを使いテンポよく進める。 ・ 学習課題のポイントを簡単に説明する。	
	外国人留学生と交流する場面でのスキットを発表することができる。		
展開	4 リスニングを行い、副詞的用法を使った文の構成と意味を確認する。 5 「修学旅行に行って留学生と交流をする」場面で、ペアでスキットを考える。 6 ペアでスキットを使って対話練習をする。 7 スキットの中間発表する。 8 気づきを交流する。 9 スキットの練習 (2) をする。 10 スキットを発表する。	・ ワークシートを使い場所と目的を聞き取り行動を表す不定詞の用法を確認する。 ・ 不定詞が行動の目的を表す「～するために」との意味であることに気づかせる。 ・ そこに行った目的を必ず含む文を書くように指導する。 ◆WORD BOXを手がかりに表現する。 ・ 感情をこめて練習する。 ・ ゴールイメージを共有するために、1組ないしは2組のスキットを見せる。 ・ ワークシートのチェックポイントを参考に意見を交流する。 ・ 気づきを発表し全体で共有する。 ・ 気づきを生かした発表をする。	不定詞の文法構造や意味、用法について理解している。 ★不定詞の正しい文法構造 (スキット) ★伝える相手を意識し、お互いをよりよく理解するためには、どう伝えるべきか考えていく課題発見・解決力 (ワークシート・行動観察)
まとめ	11 本時のまとめを確認する。	・ 基本文の確認を再度行う。 ・ 自己評価カードに記入する。	

(5) 板書計画

本時の 目標	<外国人留学生と交流する場面でのスキットを完成することができる。>	Thursday, October 13 <sup>th</sup> sunny
	不定詞 (to+動詞の原形) ～するために I went to Sogo Park <u>to play soccer.</u> (私はサッカーをするために総合公園へ行った。)	★スキットの注意点 ①内容につながりがあるか ②ジェスチャーや相づちを入れながら会話を行なっているか。

## Why did you go to Tokyo Disney Land?

基本文

I went to Tokyo Disney Land to see Mickey and Minnie.

私は( )東京ディズニーランドへ行きました。

### ★ポイント

- ① to+\_\_\_\_\_を不定詞と言います。
- ② その中でも「\_\_\_\_\_」と行動の目的を表すものを、副詞的用法の不定詞と言います。



### 【 Let's Practice! 】

( ) 内に適する語を書きましょう。 また(1)(2)には練習しましょう。

- ① We go to Sogo Park ( ) ( ) ( ) .  
私たちは野球をするために総合公園へ行きます。

(1) We go to Sogo Park

(2)

- ② She went to the library ( ) ( ) ( ) .  
彼女は本を読むために図書館へ行きました。

(1) She went to the library

(2)

- ③ I got up early ( ) ( ) ( ) ( ) .  
私は宿題をするために早く起きました。

(1) I got up early

(2)

- ④ Daniel came to Japan ( ) ( ) ( ) .  
ダニエル先生は英語を教えるために日本に来ました。

(1) Daniel came to Japan

(2)

**【 Let's listen! 】**

① Mr.	② Ms.
場所	場所
目的	目的
その他	その他
MEMO	MEMO

**【 Let's make a skit! 】**

★どんなシチュエーション? なぜそこに行ったの?? 会話の後半を作ってみよう!

A: How are you?

B: I'm fine. Where did you go on the weekend?

A: I went to  . (←場所)

B: Why did you go there?

A: I went there to \_\_\_\_\_ .

B: \_\_\_\_\_ .

まだ続けられるかな? チャレンジしてみよう!

A: \_\_\_\_\_ .

B: \_\_\_\_\_ .

**【WORD BOX】**

It was interesting. (おもしろかった。) It was fun. (楽しかった。) It was boring. (つまらなかった。)

Really? / Are you sure? (本当に?) How long~? (どのくらい~) How was it? (どうだった?)

I see. (なるほど) That's good. (それはいいですね。) That's bad. (それは大変でしたね。)

to do shopping with~ (〜と買い物をするために) to study (勉強するため)

**【 Let's listen! 】**

① Mr.	② Ms.
場所	場所
目的	目的
その他	その他
MEMO	MEMO

**【 Let's make a skit! 】**

★修学旅行で外国人留学生にインタビューしています。スキットの続きを考えよう。

A: Excuse me. Why did you come to Japan?

B: I came to Japan \_\_\_\_\_ .

A: \_\_\_\_\_ .

B: \_\_\_\_\_ .

A: \_\_\_\_\_ .

B: \_\_\_\_\_ .

**【 Let's Check! 】** ★スキットを発表するときには、こんな点に気をつけてみよう！

①内容につながりがあるか。

②ジェスチャーや相づちを入れながら会話をしているか。

**【WORD BOX】**

It was interesting. (おもしろかった。) It was fun. (楽しかった。) It was boring. (つまらなかった。)

Really? / Are you sure? (本当に?) How long~? (どのくらい~) How was it? (どうだった?)

I see. (なるほど) That's good. (それはいいですね。) That's bad. (それは大変でしたね。)

to do shopping with~ (〜と買い物をするために) to study (勉強するため)